

令和7年度在外公館長表彰式（第2回）：大使挨拶

本日は、令和7年度在外公館長表彰授与式をこのように開催できることを大変嬉しく思います。

今回は、ブラジルにおける日本文化の普及及び友好親善に特別な貢献をされた、チアゴ・マンゾーニ氏、エドゥアルド・プラド氏及びパコ・ブリット氏を表彰いたします。

それでは、お三方の功績を紹介いたします。

チアゴ・デ・アラウジョ・マシエイラ・マンゾーニ氏は、ブラジリア連邦直轄区（DF）議会議員として、当地ブラジリアにおける日本文化の普及に貢献されています。昨年、マンゾーニ議員の提案により、DF 議会において、法律第7472号が成立しました。この法律は、ブラジリア中心部であるプラーノ・ピロット地域における通りや広場等の公共空間を DF にとって重要な文化的・社会的・経済的関心事項として位置付けるものです。この法律により、ミカミ日本食材店、ダイソー、ウマミ日本料理店、モンタロウ寿司、ザ・コーヒー等の商店が並ぶ南414／415通りが「日本通り（Rua Japonesa）」と認

定されました。今後も、DF 議会議員として、日本とブラジルの友好関係促進のために活躍されることを期待しています。

エドゥアルド・ジョゼ・ド・プラド氏は、ゴイアス州議会議員として、ゴイアス州における日本文化の普及、日本・ゴイアス州関係の発展に尽力されています。2021年に、プラド氏の働きかけにより、ゴイアス日伯協会を始めとする日系社会の貢献を称え、ゴイアス州議会にて6月18日を「日本人移住の日」とする州法が制定され、翌2022年には、「ゴイアニア盆踊り」を同州の文化カレンダーに掲載し、毎年8月に開催することを州法に定めるに至りました。また、2023年に、プラド氏の発議により、ゴイアス州法にて「ゴイアニア盆踊り」をゴイアス州無形文化遺産に定めることが決定されました。引き続き、ゴイアス州における日本文化の発信、日本・ゴイアス州関係のさらなる発展のために貢献されることを願います。

マルクス・ヴィニシウス・ブリット・デ・アルブケルケ・ジラス氏は、2019年から2022年にDF副知事を務め、2023年から今日までDF政府国際関係局長官として、DF内における日本文化の普及を支援してきました。例年、ブラジリア日本祭りやアニメサミッ

ト等の実施に当たり、当館と関係局の橋渡し役として協力されています。また、日伯外交関係樹立130周年に当たり、DF 政府が所有する映画館、劇場、美術館等の施設を使い、日本文化を広めるための取り組みや日本語バイリンガル校の早期実現のためにも積極的に活動されています。今後も、ブリット氏と当館が一層連携することを通じ、日本と DF 政府の関係が深まり、ブラジリアにて日本文化が益々普及することを願っています。

改めて、お三方の御功績に敬意を表し、また、御家族、御友人をはじめ、協力してこられた関係者の皆様に感謝しつつ、今回の受賞をお祝い申し上げます。

(了)